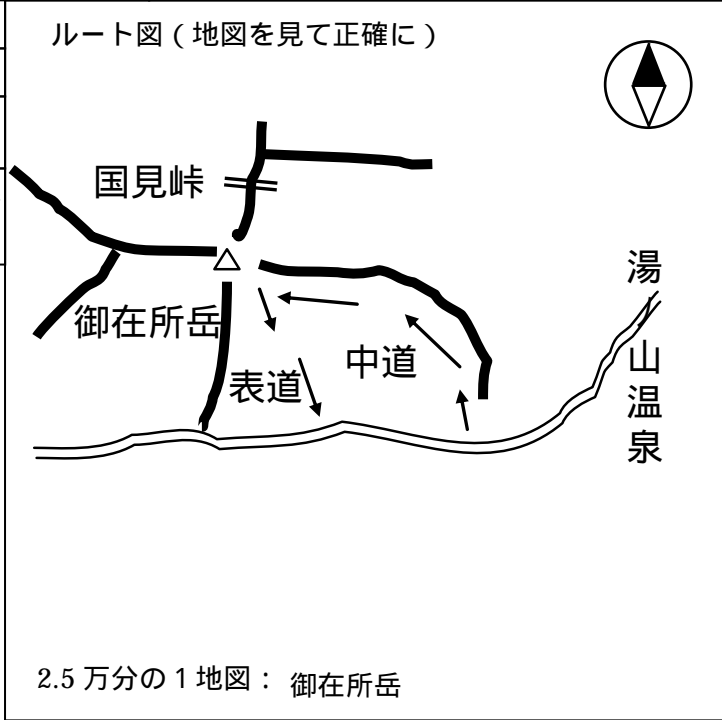


10月度 例会 個人 山行報告書		報告者	大矢康裕	参加 メンバー	CL:大矢康裕、浩貴
		報告日	11/08		
山域	鈴鹿	山行日	06年 10月 28日(土) ~		
山名	御在所岳		**年 **月**日(*)		

山行目的	山歩きに慣れる	コースタイム(天候:天気図記号)
------	---------	------------------

配布先	ルート図(地図を見て正確に)
集会:12	
山行:1	
リーダー	
原紙:集会担当者	



10/28 快晴
7:20 自宅発
8:15 中道登山口
8:30 発
9:10 負ばれ岩
9:20 発
10:00 キレット
10:00 1000m
10:15 発
10:45 朝陽台
11:00 発
11:30 御在所岳三角点
11:45 発
11:55 表道分岐
13:55 中道登山口
15:30 自宅着

山行報告 山では紅葉の便りが聞かれる頃となり、低山ハイキングには絶好のシーズン。来年の夏に向けて、山歩きに慣れてもらうために、鈴鹿の御在所岳(標高1212m)の一般ルートの中で一番面白いと定評のある『中道』に登ることにした。自宅を7時20分に出発して、1時間弱で中道の登山口に到着。すでに付近の駐車場は一杯で、路肩の駐車スペースに車を止める。移動性高気圧に覆われて、予想通り、抜けるような快晴の秋空のもと、長男と2人で、前日の空手練習で疲れた身体を労わりながら、ゆっくりと登り始める。実は、私は中道ルートは初めてで、期待に胸を躍らせる。ロープウェイの真下をくぐると、ほどなく『負ばれ(オバレ)岩』と呼ばれる奇岩が現れる。ここで沢山の人が休憩している。少し上に行くと、今度は今にも落ちそうな『地藏岩』という奇岩が出現。通り過ぎたオジサンの話だと、上の岩の向きが数年前と違っているそうである。やっぱり動くんだと、思わず納得。更に行くと、キレットと呼ばれる岩場を下るところがあった。実際についているルートはキレットというよりも、岩の溝と言ったほうが近い。鎖場も岩がしっかりしているので、特に不安はないが、初心者はびびるかもしれない。現に、後から我々を抜いて前に行く長男と同じくらいの年の男の子が怖がっていた。我が長男は、高いところが好きと生意気言うだけあって、三点確保を教える私のアドバイスを聞き流して、一応無難に降りる。頂上直下の岩壁の下を右にトラバースするところで、右下が切れていて高度感があるところがある。私は何とすることもなく巻いたが、近くのオバサン曰くキレットより怖いワ、長男も少し怖かったそうだ。

ここを通過すると、あとは樹林帯の急登を詰めると、ひょっこりと朝陽台の展望台に出る。遠くは四日市工業地帯から伊勢湾、すぐ下は本谷を数人の登山者が詰めているのが見え、その上には『大黒岩』の奇岩を囲む登山者が見える。すぐ南方には鎌ヶ岳の三角形のピークが望まれ、次はあそこへ行こうかと長男と語り合う。ここからは鮮やかな紅葉を楽しみながら、15分ぐらいで御在所岳三角点に到着、4年ぶりの頂上だ。下りは表道から。

リーダー所見 表道はよく整備された道であるが、一箇所、ショートカットを降りてしまい、長男が滑って手を擦りむいてしまった。幸い大したことはなかったが、初心者を連れて行くには細心の注意を要すと、改めて心を引き締めたい。



確認 (リーダー)	大
06/11/06	矢
作成 (報告者)	大
06/11/06	矢